

Consultants

持続可能な未来社会の実現、 その中核的な役割を担うために

大本 修
一般社団法人建設コンサルタント協会 会長



令和8年、明けましておめでとうございます。

昨年は、私たち建設コンサルタントが担う役割の重要性が、改めて認識された一年でした。1月には埼玉県八潮市で老朽化した下水道管の破損による道路陥没事故が発生しましたし、気候変動により熊本、鹿児島など各地で豪雨災害が発生し、都心部などでは記録的な大雨による内水氾濫や浸水被害が相次ぎました。

私たちは、将来の担い手を確保しながら、技術力と知見を結集して社会課題に向き合い、その役割をしっかりと果たす必要があります。そのような業界となるための、協会の取り組み状況を述べます。

「要望と提案」活動

「はじめに」と5つの柱で構成した「要望と提案」による発注者との意見交換会では、将来の担い手確保の問題など、受発注者間で危機感を共有し、解決しようという雰囲気が強く感じられ、結果として表れ始めています。

納期の平準化やワーク・ライフ・バランスの改善では、受発注者双方の理解を促すマニュアル類の整備など、地整ごとに様々な対応を進めていただいている。納期目標との乖離はまだあるものの、第4四半期、3月の納期率は、大きく改善しています。今後は納期目標の達成のみに着目するのではなく、時間外労働時間の削減という本来の目的に立ち返り、会員企業の皆様の状況を確認しながら、より実効性のある環境を整備する必要があると感じています。

そして、今年度中に全ての都道府県で、見積収取時の予定価格設定時に、平均値・最頻値が採用されることになりました。最低値を採用してきた少数の発注者が、全都道府県の対応状況を一覧表で示した「要望と提案」の説明資料を参考として、改善いただいた結果です。

今後も、会員企業の皆様の意見を反映し、「要望と提案」活動に積極的に取り組んでまいります。

建設コンサルタントビジョン2025

2025年5月に、「建設コンサルタントビジョン2025」を

策定し、持続可能な社会の実現に向けた業界の方向性を示しました。本ビジョンは、未来の社会資本の在り方を示すとともに、将来において建設コンサルタントが役割を発揮するためのイノベーションの在り方、具体的な達成目標とロードマップを示しました。

今後も、各委員会や会員企業の皆様の協力を得ながら、ビジョンの実現に向けた取り組みを進めます。

建設コンサルタントの地位向上検討委員会

2025年6月に設立した「建設コンサルタントの地位向上検討委員会」は、会員企業が担う高度な技術的活動に対して、相応の報酬や知的財産の獲得、社会的認知度の向上を目指し、協会内外の取り組みを集約し、推進する役割を担っています。本委員会では、2024年6月の品確法改正を踏まえた、担い手確保や生産性向上などの課題に対し、AI活用やプロセス改革、データマネジメントなど新たな役割も見据え、横断的な検討を進めています。

具体的には、①喫緊課題：業務における生成AIの利活用や技術開発における成果品利活用のルール作りなど、②短期課題：品確法改正に対応すべきガイドラインの作成など、③中長期課題：報酬制度の改革や知的財産権の獲得、建設コンサルタントの認知度向上など、を設定し、段階的に取り組んでまいります。

生成AIの利活用は、その実現に向けて国土交通省（技術調査課）との意見交換を開始し、品確法改正に対する行動ガイドラインは、その策定に向けて各担当委員会でアクションプランの検討を開始しています。

私たち建設コンサルタントは、将来の担い手確保のための環境改善を進め、受動的な受注産業から、主体的に研究開発や価値創造に取り組み、政策提言を行う能動的な業界に変わることで、持続可能な未来社会の実現において、中核的な役割を担うべきと考えています。

そのために、今年もこれらの活動を積極的に進めてまいります。会員企業の皆様方、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。